

千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク (千葉ネット)

千葉県院内感染対策地域支援ネットワークは、千葉県（医療整備課）から千葉大学医学部附属病院へ委託されて行っている事業です。

これは厚生労働省の事業の一環で、予算を国と県と半分ずつ出し合っています。

事業は、当初院内感染が発生した場合、保健所等の行政機関への報告の前の段階で、地域の専門家に相談できる体制・ネットワークを構築するという考えでスタートしたものです。現在も基本的に相談・支援事業を主としております。

千葉県では6地域に分けそれぞれを担当する医師のほか、保健所長、歯科医師、薬剤師、看護師、検査技師等で構成する協議会を設置し、当ネットに参加されている方々と協力し活動しています。

主な事業は、改善支援、サイトビジット、平常時評価等の実地支援とメール等による相談事業、及び研修会の開催、感染対策実践者の資質向上のための支援等です。なお実地支援や相談は千葉ネットに参加されている機関に限ります。是非千葉ネットへ参加し、千葉県における院内感染対策の向上にご協力ください。

千葉ネットの活動

実地支援

アウトブレイク発生時の対応手順
(H26.12.19：医政地発 1219 第 1 号通知から改編)

アウトブレイクの疑い

感染対策委員会、ICT 会議の開催
アウトブレイクに対する
感染対策の策定と実施

新たな感染症の発病

地域のネットワークに相談

千葉ネット

患者 10 名以上、
因果関係が否定できない死亡例、
または必要に応じ

保健所へ報告

研修会の開催



メール等による感染対策に係る相談

各地区での感染対策活動への支援



千葉ネットへの参加申し込みは下記事務局へご連絡ください。

※実地支援は第 3 者機関の監査や行政機関の検査と異なり、千葉ネット参加者同士の支援システムです。アウトブレイク時の改善支援や収束後の評価をするサイトビジット、平常時の感染対策評価等を行っています。

千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク
(千葉ネット)

事務局：千葉大学医学部附属病院 感染制御部
Mail：kansen-chibanet@chiba-u.jp